明治四十三年十二月十一日(日曜日)(月曜及祭日の翌日休刊) 第五百七十七號 (一)

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久伸一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

編輯局私言

五洲生

▲我が京城新報社編輯部諸君へ申入候、愚者は本日を以て編輯部員の中間入を致すことに相成り、爾今、社内人の援助と讀者諸君の賢明なる批評に訴へて聞致候へども半島開發の爲めに多少微力を盡し度と存候、ヌーボー式も如何と存じ候まゝ宣言にあらず、告白にもあらざる御挨拶申上度 如此に御座候。

▲民團存廢問題は擧はずれども變は見ねずの感あり候、未だに具体的政策の出來ざるは鮮人教育の程度低きと、外國人租税賦課の困難にも因るべく候へども外國人賦課の問題は外交の手腕でどうにも成ること、又鮮人とても性來低脳兒といふ譯にも有之間敷に付き、寧ろ官僚政治の本領を發揮して一氣可成に番號を付けられ度ものに候、然らされば民團員の損害は到底拾收すべからざるべく候と申して損任の當負ひ處は無く捨小舟の感あらず候や。

▲帝國も愈々立派な一等國と成り濟まし申候、嚮きには白瀬中尉の南極探檢、丹羽氏の海峽横斷計畫、黄禍論も論旨の内容を改むべからず候や、御大將嘸かし御心配のことゝ存候、而し是れ杞憂に過ぎず候、帝國の國是は人道の擁護と文明の開發、是を措て他あらず候。

▲内地人始めて釜山に上陸して驚くものは廣軌鐵道に候、流石は大陸的に感心致候へども賃金の高率なるには一倍驚入候、生活程度の低きヨボが如何に之を利用するかは未だ詳記せず候へども殖民政治の遣り方としては、寔に敬服いたさず候。

▲藩閥政治や官僚專制の弊は、今更のことに無之候へども、過回の陸軍將校の大更迭には一驚を喫し候、惟ふに今は一將功成り萬骨枯るに非ずして、權勢に侍するもの獨り名譽の冠を壟斷すとや申すべき何時もながら痛頭のことに候。

海龍城鐵道問題(上)

目下日清間の懸案と稱せらるゝ海龍城鐵道計畫に付いては元來彼我の主張に大いなる懸隔あり、今後如何に發展すべきか元より不明ながら其係爭は論點は大要左の如くにして該鐵道の發展如何に依ては直に滿洲の財界に大影響を及ぼすべき性質のものたり蓋し

▲海龍城一帶の地は雜穀殊に大豆の産地にして此地方と滿鐵との關係並びに遼河との連絡は經濟上正に死活問題として見らるべきもの也從來の商路としては北吉林より海龍城山城子を經て長途奉天に達するものを東幹線とし山城子より西に分岐して開原に達する支線商路は滿鐵の開通と共に却て重要視せらるゝに至れり右東幹線に對して西幹線とも稱すべき商路は吉林より伊通、開原に至り滿鐵に沿ひ鐵嶺を經て奉天に到るものにして此二大商路は共に雜穀輸出、貨物の輸入に對し從來滿州經濟界の二大動脈なりしものなり而して更に留意すべきは西幹線に平行して遼河の水運あるの一大事にして其要港馬蜂溝は鐵嶺に接し古來大豆取引の樞要に當り支那豪商の根據地にして大豆は茲よりジャンクに依り遼河を下って營口に至る

▲彼我の主張 海龍城鐵道計畫に關し清國側の主張は同地より山城子を經て鐵嶺に之を達せしめ以て右馬蜂溝の商勢を振興せんとするに在りされど山城子と鐵嶺との間は山岳重疊して到底一直線に之を連絡する能はず已むなく右東幹線の支線たる山城子開原の商路に沿ひ開原に近づく三哩餘の地點より南折して西幹線又び滿鐵に沿ふ十數哩を以て鐵嶺に達せんと計畫するに至れり

●黒龍江の航運

露國政府にて愈々明年度より黒龍江鐵道中部線敷設に著手する事に決したるより黒龍江に依りて該鐵道材料を運搬する爲め黒龍江の輸送貨物激増すべきを豫想し同江中心たるブラゴウエシチエンスクの船主等競ふて之が準備に著手し過般黒龍江結氷の爲め同江航運業の終るや否や船主中改良新型の船舶を得んとて舊式の汽船及び荷船を賣却したる者多くブラゴウエシチエンスクにては目下造船業盛んなれば明年度の航運期には黒龍江を航する船舶著しく増加すべく又船主中白耳義のジョン、コケリル造船所に各五万布度の載貨力の鋼製荷船の製造を註文したる者少なからずと

●清國の馬賊討伐

清國官憲に於ては滿洲に於ける馬賊に對して各手配を定め之れが大討伐に着手したり右は本年秋季に入り馬賊の出沒殊に甚だしく南滿、安奉沿線其の他地方良民の被害夥しく地方の安寧秩序を紊すものあるより我が外務省にては特に駐清公使に電訓の上北京政府をして速かに馬賊討伐に從事せしむる樣注告を發したる結果なりと云ふ

和歌募集

勅題「寒月照梅花」

選者 九華館主留

何首にても随意、用紙用箋類も又御随意の事、締切期限十二月廿五日、發表は四十四年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮って投詠せられんことを希ふ

十二月二日 本社編輯局



●黒龍江採木公司

佛國某資本家は日清合併の鴨綠江採木公司の組織に倣ひ黒龍江に採木公司設立の計畫を以て去る十一月下旬北京駐在同國公使を經由して錫東三省總督に許可の申請を爲したり

新刊紹介

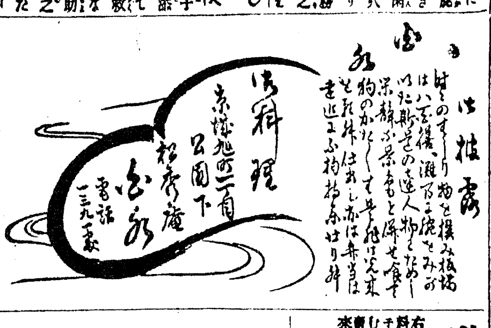
●新民家庭(第一編第十二號) 年末號ながら内容は例に依りて豐富なり德川伯の夫婦の愛情は同情より來る江原素六氏の、女は一番大切な教育家島博士の鼠と人生、其他れ正月の獻立、ミシン縫方等趣味宮津々の記事を歴す(東京神田一ツ橋通報德會)

山中鹿之助

第卅三回 西尾麟慶演

偖て乳母の阜月が段々と聞きますと前回に申上げました通り、鹿之助へ御懸想遊ばされて居る事が判りましたから早速此趣を御兩親へ申上げまするとこれを聞き遊ばして中納言殿れ怒りもなく 秋「斯る亂世なれば一方の大將となって采配を揮るものを婿に致して置たい公卿だからと云って軍人としないとは限らない故に姉娘は中國尼子へ嫁してあり、今尼子は毛利の爲に大に其國を狹められ、吳越の思ひを爲して居る……九重が望む鹿之助も尤もの至りである、人物と云ひ技倆と云ひ不足なきものなり、何れにも工夫致して婿に欲しいものと胸中に浮びました人を以て鹿之助が都に居るか居ないかと尋ねると鹿之助は未だ發足も致しませんで、近頃は菊酒屋と云ふ料理屋に止宿を致して居ると云ふ事が判りました、此の菊酒屋は段々れ話を致しまするに加賀の者で更科が彼の山塞に居りました時、蓮庵の幸助にそゝのかされて來たきくと云ふ娘を送り返した緣故があったので御座ひます然れば茲で中納言教之卿に於ては使者をれ遣はしに相成つて鹿之助をれ招きになりました、鹿之助も京都出發の時は是非共御暇乞に參るつもりでありましたから、早速れ使者に伴はれまして御館へ上りました中納言殿れ遇になつて何くれとなく御叮嚀なる御料理を給はり打解けての御物語りで御座ひます、玆に鹿之助は兩三日御館に滯留する事に相成りました中納言殿御家來方へ内々れ話をいたされ是れ姫が婿と致しても充分なるもの無位無官の浪人とは申せども苦からず彼を婿にいたさうと仰せられました 臣「併し上は左樣仰せられましても、鹿之助殿のれ心が如何なるものか知れませんと、夫れから御家來が此儀を鹿之助へ尋ねる事に相成る、鹿之助は思ひよらざる仰せに赤面を致し、ハッと平伏を致し 鹿「有難き仰せを蒙むるものかな、身に餘りたる幸福、仰せいかに背くべきにあらず、宜しくれ計ひを……」と申上る胸中では我清水觀世音の歸るさに彼の姫君を見たるが、實に絶世の美人殊更中國尼子御門家の婿となることを得るは此上も無い幸福なりと思つて居ります、鹿之助は異儀なく承知致しましたから早々決定を致しました、併し公然披露は相成りません、内々の事に致して是より鹿之助を御館へ引取る事に相成りました、鹿之助茲に二三ヶ月に相成りますが何んの事もなく其日を送りまするが、英雄の鹿之助思へらく、我かゝる公卿の婿となり、月を賞し花に醉ひ、文墨に流れ、風流に遊んで結構であるが、父は相木森之助とて甲斐武田方の勇將馬場美濃守の影武者、母は村上家の軍師樂岩寺右馬之助が娘なれば、我も其子たる者千軍万馬の中を往來し、屍を戰場に曝して名を萬天に揚げん之を以て孝の始め終りとせん殊更諏訪ヶ城に於て父に別れ申す時、父母の言葉も忘れ難し女の容色に溺れ、生涯を榮華に流れんや、今天下亂れて麻の如し、上は一天萬乘の君をして震襟を惱させられ、下は億兆塗炭の苦しみ此時に當つて大丈夫何ぞ空しく日を過さんや、左りながら我一旦九重姫の容色に心迷ひて婿となりたるものを、今更捨て出る事も相成るまじ、如何はせんと頻りに之を憂ひて居りました、然るに或一日中納言殿鹿之助をれ召しに相成りまして、國の亂れたるを大に慷慨したまひれ物語に相成ります、鹿之助之を承はり 鹿「抑も武臣たるべきものゝ心がけは斯る亂れたる世に安閑として日を送る事は望ましからず、火に入るとも水に入るとも行はれん限りは身をもつて盡し、國家に應分の義務を果すべきものなりと述べました、秋之卿、御喜びに堪へず、初めて其胸中を御物語りになる 秋「八重姫は中國尼子に嫁しあり、其方は中國尼子へ力を添へて今毛利の爲に大に國を狹められて己に倒れんとするの有樣なれば之を救ひ呉れよ、と仰せられる 鹿「身不肖なれど早速中國へ乘込んで尼子殿に御助勢仕るで御座ひませう、是より鹿之助中國尼子へ出立の用意に及びました





民團存廢問題に關し

京城新報

保護政治時代に在つては余輩は民團に關する問題を以て比較的小なる問題として取扱つた、何となれば比較的大問題たる、韓國處分問題が前に横はつてあつたから。ソウして該處分問題が解決さるゝ後ちは必ず民團問題の如き自然余輩の理想通りに解決さるゝものと信じたからだ、事は意外、[illegible]

一視同仁の負擔

[illegible]

十萬餘の鮮人の爲めに

移住民は官い命とあらば如何なる困難をも堪らん其結果は我京城の場合に於ては六萬の内地人が一二十萬餘の鮮人の爲めに今日以上の負擔を爲し、而かも負擔の效果は今日以下、減じ、其上朝鮮側よりは常に[illegible]ばならぬ事になるのであ[illegible]

混治は理想

日鮮人の混治は理想にして良いのである、而かも如何にせん實行に就いては今日は未だ其時でないのである、而らば民團は如何に決せんか、余輩は今日鮮兩人幸福の爲めに便宜上區別を置き鮮人團は鮮人負擔の範圍に於て之を、内地人團は内地人の堪ゆる範圍に於て之を經營せしめ、然して内地人と並行し得るの時代に到達したるの場合に於て混治を實行するを自然にして且つ至當なることゝ信ずるのである、此立場よりして余輩は日鮮人の分治を主張し、民團をして假令名義は變更しても一種の自治体として存續せしむるの必要にして且つ合理なるを主張するものである、若し夫れ爲政者にして混治を實行せんと欲せば一方内地人を犧牲とすることなく、他方鮮人をして負擔の苦痛を感ぜしむることなき良案を[illegible]せんか、余輩は余輩の主張に吝ならざるものである、[illegible]して良案なしとせんか、[illegible]被治者の幸福を[illegible]するものなることを考へ、深[illegible]張に同ずべきであるので[illegible]

同化

[illegible]

幾十年の歷史

[illegible]

寺内總督

[illegible]

聖天子の德

[illegible]

附赤子

[illegible]

京城を退去

[illegible]

强力を以て弱者を驅逐

[illegible]

字社の事業に見よ 合同懇親會

[illegible]

燈火費 出金力

[illegible]

營業稅戸別

[illegible]

存續 自治体

[illegible]

京城電報（十日）

英帝戴冠 軍艦派遣 來年六月英國皇帝陛下戴冠式に東宮殿下御差遣は未定なるも軍艦二隻を參列せしむることは最近の閣議に於て決定し之に對する追加豫算を提出する筈なり

伏見宮の御赴任 伏見宮殿下は本日御赴任遊ばされたり 朝日艦長伏見宮[illegible]

廣軌改築の内容 鐵道[illegible]廣軌改築の内容は車輛改良費三千二百萬圓用地買收費四千百萬圓起業費八百萬圓枕木及び土工費七百七十萬圓停車場擴張費三百三十萬圓總計一億一千四十萬圓の豫定なりと

後藤遞相の說明 後藤遞相は昨日幸俱樂部に於て新橋下の[illegible]

雜報

韓銀重役元内藏院を欺く 仁川電氣會社は其創立以來種々の困難に遭遇し不幸にして未だ好成績を納め得ざるを以て常に無配當の狀態にあり從つて五十圓拂込の同社株券は之を賣買するときは時價二十圓位の者なるが韓銀重役木村雄次氏と秋田毅氏とは共謀して元の宮内府内藏院を欺き二十圓相場の電氣株三百株を一株四十八圓つゝに賣附けたり而るに元宮内府殘務整理員は整理進行中今回始めて木村秋田兩氏に欺かれたることを發見し整理上大に迷惑を感じつゝある由なり

安奉沿線の米價 今夏來米穀は安東縣を經て高粱は奉天を經て安奉線に輸出せらるゝもの頗る多數に達せるが是は全線改築工事に從事せる日淸勞役者の食用に供するものなるが就中米穀は過激なる勞苦に堪ゆる

▲**東株今期配當額** 東京株式取引所にては來二十三日株主總會を開き來年度上半期間の收支豫算及び監査役改選等を附議する筈なるが今期利益金は六十三萬三千四百九十五圓四十三錢八厘にして株主配當額は六十萬六千六百圓にし年一割五分四毛也

▲**重野博士の葬儀** 故重野安繹博士の葬儀は今十日午後二時自邸出棺谷中齋場に於て執行せり葬式は質素を旨としたるを以て一般會葬者は行列に加はらず齋場に會葬せり

▲**門司關稅監視官** 稅關監視官古田忠德氏は門司稅關在勤同監視部長被命

▲**遞乘競爭優勝艦** 我が海軍にて本年九月中旬各艦艇の遞乘競爭を擧行したるが其結果は軍艦鈴谷及び第一艇隊の第四十七號艇最優等の成績を占めたりと發表せらる

▲**各派議員交涉會** 衆議院議員各派各交涉會は來十七日開會する事と略は決定せり當日は部室、議席、全院委員長等に關し交涉すべしと云ふ

▲**政友會と陪審制** 第二十六議會に於て政友會より建議せし陪審制度は衆議院を通し同會は引續き調査中にて橫田大審院長の如きも贊成の由なるが同會にては來期議會に於ても大に之れを主張し强硬に論爭する筈なりと

▲**軍艦注文、英國** 日本政府より英國へ軍艦を注文したる爲め同國の氣受頗る良き旨公報あり

鐵間廣軌改築の内容に就き二時間に亘り說明せり

債券制限解除

朝鮮貴族及び舊韓國官吏に交附せし債券を若し規定の如く賣買讓與を許さずとせば判任官の如き僅か三百圓位を給與されたるものは一ケ年の利子僅か十五圓に過ぎず又勅奏任官の如きも其利子僅少にて生計費の一部にも足らず孰れも之を資本として事業に從事するの外なきを以て之が賣買讓與の制限解除を今期議會に運動する等にて目下其手順を定め居れりといふ

● **朝鮮問題調査會** 政友會滿鮮調査會の朝鮮に關する特別委員會は四日午後開會朝鮮例會と憲法との關係及び制令其他に關し協議を凝らし反對的決議をなし鳩山委員長に報告し七日午後一時より滿洲行政組織の件同二時より移民集中に關する件の特別委員會を開き該調査を決了する筈なり

● **安東縣電燈會社** 安東縣電燈會社は滿鐵會社に買收の交涉中なりしが遂に十三萬圓にて讓り渡す事となり電燈會社は近日總會を開き決定すべし

● **吉長線の竣成期** 山尾技師長監督の下に本年五月起工したる吉林長春間鐵道は全線九十二哩中十月の結氷期迄に四十五哩の建設を竣り目下工事休止中なるが來年五月より再び工事を繼續し九月末日までに全部竣功すべしと

米の需要 [illegible]の必要より賃銀の高率なるを幸ひに其需要最も多く全線に涉れる供給は朝鮮米のみにて引足らず上海米をも輸入し其用途に充てたる程に從つて其價格著るしく騰貴し本年の解氷前迄十三圓臺と上下したるもの現今は十五圓臺迄引上げたり然し本年の作柄は朝鮮一帶を通じて昨年より約二割以上の豐作は確かなれば上海米を仰ぐの必要なく自然平調に復すべしといふ

稅關長會議

去る五日より總督府新築樓上に於て開會中なる稅關長會議は各種の問題に付き種々審議中なるが來る十三日頃閉會の筈なり

● **朝鮮全道の氣象** 高氣壓は滿洲に固定し北西風强く一般に晴天にして長春は零下二十七度に下れり

● **各港の外國貿易** 朝鮮各開港場に於ける去月中の外國貿易は輸出品額四百〇四萬二千四百十三圓にして輸入一千〇三十萬九千九百四十七圓合計一千四百三十五万二千三百六十圓にして本年一月以降の累計にては差引六百二十六萬七千五百三十四圓の輸入超過なりと

● **内地朝鮮間貿易** 同月中内地朝鮮間の貿易は移出一千三百十一萬一千三百二十三圓移入二千三百八十七万四千六百四十三圓合計三千七百〇一萬五千九百六十六圓なりと

● **東沿岸諸港と各驛** 此度鐵道局に於ては朝鮮各驛と東沿岸各港迄の聯絡の便利を計らんが爲めに元山吉田廻漕店と連帶契約をなし來る十二月二十日より朝鮮東沿岸左の各港と鐵道線各驛相互間に於し大貨物發着する筈也と
淸津、鏡城、明川、城津、新昌、新浦、前津、西湖、元山、江陵、迎日灣、蔚山

● **朝鮮統治意見書** 政友會代議士松田源治氏は五日午前寺内總督を官邸に訪ひ朝鮮統治に關する意見書を提出したりといふ

● **民團議員改選期決定** 本年九月統監府令第五十七號を以て發布せられたる居留民團議員の任期滿了の件は十日總督府官報を以て明治四十四年一月三十一日限り之れを廢止することゝなりたるが此府令が廢止さるゝに於ては九月後滿期となれるもの及び一月三十一日迄に滿期となるものは其後に於て全々民團議員の資格を失ふものにして隨つて滿期議員を包含する各民團は同廢止の日を以て議員の改選を行はざる可からざるもの也と

● **府令廢止と各民團** 別項統監府令第五十七號の廢止に伴ひ議員の改選を要するものは左の九ケ所にして改選を要せざるものは新義州、鎭南浦の二ケ所なり
京城 仁川 釜山 元山 木浦 大邱 平壤 馬山 群山
右の内大邱は本十二月を以て任期滿了となるものなれば等しく一月三十一日を以て改選を要するものなり右改選に就ては選擧施行法第十九條に基づき議員の選擧期日五十日前に選擧名簿を調製する規定なれば一月三十一日に改選を行ふこととすれば明十二日迄の有資格者を調査すべきものなりと

● **稅制調査新委員** 京城居留民團の稅制調査會は今回更らに淺野長七、菅原大太郎、田村義太郎、宗古禮藏、進辰馬の五名に調査委員を囑託し都合十五名となり旣に部署も定りたるを以て近日第一回を開き會長の選擧を行ひ調査に着手すと

● **高女校の落成式** 本年六月一日起工先月二十八日落成したる當民團立高等女學校は本月其の落成式を擧けたるが構造は凡て木造西洋建にて敎室九其他裁縫音樂理科雨天體操場割烹練習室等の設置ありて頗る完備したるものなり當日の來賓の重なるものは市原韓銀總裁外紳士淑女二百餘名にして式序は先づ民長の辭に次ぎ君が代の奏樂勅語の捧讀高等校長式辭來賓式辭あり生徒總代川村春江子の祝辭落成式の歌にして終りて立食饗應あり頗る盛大なりしといふ因に階上には生徒の成績品約三千七百點を陳列し十二日生徒父兄十三日一般公衆の觀覽を許すといふ

● **高女成績品陳列** 豫て新築中なりし京城民團立高等女學校は愈々工事竣成し昨十日落成式を擧行せしは旣報の如くなるが尙は十一、十二の兩日は午前九時より有志父兄保證人等を招待し生徒成績品陳列縱覽に供す由

● **米穀同業組合出願** 當地米穀商金俊完氏外五十五名より同業者の惡習慣を打破し同業者間に米穀の價額を均一ならしむる目的を以て米穀同業組合成立認可の件京城府廳へ出願したるを以て府廳にては目下調査中

● **宮崎縣人會** 在京城の宮崎縣人は十日午後六時より食道園に於て縣人會を開き石井少將の爲に送別宴を張る

● **三重縣人會** 荻田總督府書記官歸任歡迎を兼第四回三重縣人會を明十一日午後三時より南山町松葉亭に於て開催

● **電信取扱所新設** 今回鎭南浦停車場内に電信取扱所を新設し來十六日より電信を取扱ふ事となれり

● **補充軍馬の到着** 朝鮮駐箚憲兵隊に於ける補充軍馬五十餘頭十日當地に着したるが右は春川、平壤、新義州等の方面に輸送補充すべきもの也と

● **仁川民會の開會** 仁川民會は明十二日午後七時より民團樓上に於て開會し豫算變更及び寄附金收納の件を決議する由なり

● **淸國公使の着城** 去る八日東京を出發したる東京駐箚淸國公使王大燮一行既報の如く十日午後八時十分南大門驛着入京當地淸國領事館に滯在當地の現狀を視察すべしと

● **英國領事の出獵** 英領事ボーナール氏は本日午前零時五分南大門發列車にて汶山浦に向け出獵したり

● **古川檢查官出發** 滯在中なりし古川會計檢查官一行は十日午前南大門發列車にて太田に向け出發せり

● **石塚長官の歸城** 石塚長官は九日午後八時十分南大門着歸城せり

● **兩中尉赴任** 憲兵司令部附中尉畑原延太郞氏及同脇野義雄氏は今回地方轉任を命ぜられたるが畑原氏は十三日咸興へ脇野氏は十七日平壤へ赴任すべしと

● **雜誌朝鮮十二月號** 雜誌朝鮮[illegible]は先號に於ても朝鮮の十二號出づ其載するところの卷口繪としては半島の荒蕪地及有名なる慶州の石佛、主張としては旭邦氏の快筆論禱萃りに到る及寺内總督及明石警務總長に與ふにして論說として半島經濟の斯界は建設すべき時也を始めとし外識者の有用の文字あり研究欄に在つては淺見氏の朝鮮墳墓の整理及今村警視の警察より見たる朝鮮八等にして以下雜纂文藝鮮問答實業資料重要記事時事日誌等を例に因つて趣味實益を兼有し江湖の一讀に値するものなり

▲ **京城手形交換高** ▼

十二月	金高	枚數
十日	一二五、一二九、〇一	二七六

▲ **治外法權** ▼

此頃北京邊りにゐる外人共は日英同盟に向かつてサカンに水をすゝんで勉めて居る、其言葉はコーだ、曰く日英同盟は單に日本にのみ利益で英國には何の利益もないと、如何に岡燒の極とは云へ中傷もコーなつては甚だ利目がない▲云ふ迄もなく日英同盟の出來たのは英國が南阿戰爭に從事せる時であつた、當時英國民及英政府が同盟を望んだことは非常なものであつた、其後英國側は同盟より生ずる總ての利益を收獲したのであつた▲勿論我日本側に於ても同盟より生ずる自然の利益は多少收獲した、併し利益の程度は日英何れが多きかは何人も之を明かにし得まい▲トコロで近來國貌問題の事からして日英間に少しの誤解があつた、併し之あるが故に日英同盟に云々するのは大早計だ、大英國が其傳來のグローリ、ロズ、アイソレーション)光榮ある孤立を捨てゝ我日本と同盟したのには深い仔細があるのだ、北京の外人共が如何に水をさそうと到底ダメな事だ▲半島が保護國となつたときに京城から公使館を撤退して總領事館を置いた佛蘭西は、今度其亦た總領事館を變更して領事館となした、夫れと反對に我は公使館から統監府となり、今は總督府となつた、今昔の感に堪ざるもの豈に記者のみならんやだ▲東拓の社債百五十萬圓が認可になつたサテ此金をドウ使ふか、併しドッチにしても大した影響はあるまい▲朝鮮貴族連が譜代の居候を處分せんと企てて居るソウだが、尤な事だ、併し大小の孟嘗君逹、恩賜公債に對してでも餘り冷酷なヤリ方をするな▲同業京日紙は刻下の問題たる民團存廢の件に關し何事をも書かぬ、御用紙には御用紙的の意見がある筈だ、極端の沈默は社會の耳目として不親切な事だ▲高等女學校の新校舍が落成した、民團があつたればこそこれも出來たのであるのだ。

北西の風晴れ

● 天氣豫報 自十日午後六時至十一日午後六時

公人私人

▲大谷信夫（仁川監獄典獄）[illegible]十日仁川入
▲富永（歩兵大尉）九日大邱へ向け
▲芥川正（釜山日報社長）九日釜山行
▲佐藤範雄（金光教會長）同上

▲仁川港の船舶出入

▲天地丸	十一日	大坂より入港
▲筑後丸	同	大連より入港
▲漢城號	同	芝罘より入港
▲[illegible]丸	同	[illegible]より入港
▲津洲丸	同	橫濱より入港
▲營口丸	同	芝罘へ向出港
▲安東丸	同	大連へ向出港
▲九州丸	同	大連へ向出港
▲筑後川丸	同	長崎へ向出港

相場電報（明治町西村支店着電）（九日）

▲大阪株式（二月限）（前場）（後場）

	前場	後場
▲神戸寄	三八、二〇	
▲電鐵引	三八、一〇	
▲京坂同	五六、七〇	
▲電鐵同	五九、七〇	
▲鐘紡同	一〇四、〇〇	
▲紡績同	一〇四、八〇	
▲日本同	九八、四〇	
▲郵船同	出來不申	延
▲東京株新同	一三四、三〇	
▲大坂株式同	一三四、四〇	
▲同	一四三、〇〇	
▲株式同	一四二、九〇	
▲同商取引同	一四一、六〇	

▲大阪期米▼

▲前場 十二月寄十四圓五十三錢▲一月寄五十九錢▲二月寄九十錢

▲仁川米豆取引▼

▲前場 十二月一月寄出來不申▲二月寄九圓六十三錢▲最高六十七錢▲最低六十七錢

▲東京期米▼

▲前場 十二月寄十五圓五錢▲一月寄[illegible]▲二月寄三十五錢

公人私人

▲大谷信夫（仁川區裁判所判事）十日仁川入京不知火旅館へ投宿
▲清水富次郎（同書記）十日仁川より入京同上
▲富永鴨司（總督府警官）九日釜山より入京同上
▲富石歡一（歩兵大尉）九日大邱へ向け出發
▲芥川正（釜山日報社）九日釜山行
▲藤田彦太郎（東京…）九日釜山行
▲佐藤範雄（金光教會…）同上

▲仁川港の船舶出入▼

▲天地丸　十一日大坂より入港
▲筑後川丸　同　大連より入港
▲漢城號　同　芝罘より入港
▲…　長崎より入港
▲漳州丸　同　横濱より入港
▲營口丸　同　芝罘へ向出港
▲安東丸　同　大連へ向出港
▲九州丸　同　大連へ向出港
▲筑後川丸　同　長崎へ向出港

相場電報（九日）（明治町西村支店着電）

▲大阪株式（二月限）（前場）（後場）

神戸電燈寄	三八、二〇
同引	三八、一〇
京坂電鐵同	五九、七〇
同同	五九、七〇
鐘淵紡績同	一〇四、〇〇
同同	一〇四、八〇
日本郵船同	九八、四〇
同	出來不申

延

▲大阪期米▼

東京株同	一三三、三〇
新同	一三四、四〇
大坂株式同	一四三、〇〇
同同	一四二、九〇
同直取引同	一四一、六〇

▲前場● 十二月寄十四圓五十三錢▲一月寄五十九錢▲二月寄九十錢

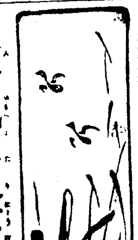
▲仁川米豆取引▼

▲前場● 十二月寄九圓六十三錢▲一月寄出來不申▲二月…▲最高六十七錢▲最低六十錢▲止六十七錢

▲東京期米▼

▲前場● 十二月寄十五圓五錢▲一月寄…▲二月寄三十五錢

●天氣豫報（自十一日午前六時至十二日午後六時）北西の風晴れ



三つ巴二人女房

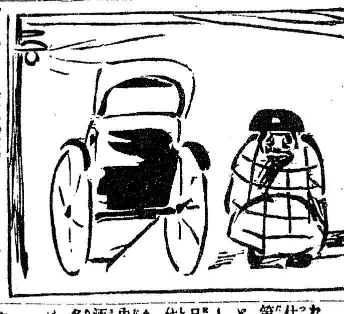
▽女房の一人は目白出
▽一人は筑前琵琶教師

今は昔元祿年間の事とかや播州赤穂の城主淺野内匠之頭長矩か城代家老に大星由良之助と云ふがあり其の女房をお石と云ふ子息も三人あつたれど夫れは此所には要なければ略すとして此の女房のお石、加古川本藏と云ふ下屋敷に房きなせが其の時浪人して居た由良さ松を切つて殿を諫めた天晴分別男の女房んどれ石が仲に生れた長男力彌の女房に結束通り自分の娘小浪を貰ふて下されと頼んだ時のお石の文句に曰く「釣合はぬは不緣の原因」と夫れから今日迄星は移つた物は變つた三百年だけれど此れは名言として浄瑠璃義太夫やら芝居やらズツト下串では浪花節から源氏節までの唄の文句に組み入れられてあるが故に日本に生れた日本人に知られ渡つて成程と點頭ながらツイ其の處業どやらから名門の娘を脊負ひ込むのが鮮くないこそ三百年もの昔の女英語なんぞも知らない由良さんの女房お石に對し誠に以て面目もない男の一人に**漢城病院**眼科部醫員**池田**某と云ふのがある本年の六月頃夫婦連れ立ち來城して南山町三丁目南山旅館に下宿せり**妻君**と云ふはたき子（二十三）と云ひ**筑前琵琶の巧手**にて號を旭龍と呼ぶのなり然れば着城當時池田君一寸職業にも在り付けざりしより旭龍女史に筑前琵琶の教授を初めさせ其の**授業料**によりて**明暮**した九月の中旬世話する人ありて前記漢城病院に奉職することゝなりし以來も旭龍女史琵琶教授は廢めず皇の稜威は四方に輝きて清國遂に和議を請ひ臺灣島を献上し合戰こゝに治まれる君の御代こそ**芽出度けつて居たり**ける**去月二十三日**南山旅館の**表玄關へ車を乗り着け**た二十五六の**婦人**二人の子供を伴ひたるが淑然に降り立ちて池田某に濱が參りましたとお取次下さいとぞ申入れしに取次の下女は折角で御座いますが池田さんも奥様もモウ御寝なりましたが……と聞いた件の婦人は赫と許りに顏色を變へ「奥さんとは池田のですか**池田の奥**は**斯く申す濱**で御座んす夫れに見らるゝ通り**子供二人**まであるのですが何かのお間違ひで御座んしようから兎に角れ取次ぎを願ひます」と流石に言葉は優しけれど眼の光りに心の底を見て取つた帳場の番頭細長つて池田を呼び起し斯くと物語りに及びしにぞ池田君或る夜寝かに豚に臍を括められた夢を見た程に驚きつゝ逃げもならねば閑室に導かせしが濱と名乘りし婦人君し無教育のものなりせば此の時直ぐに大悶着となるべかりしを其の夜は何にも云はずに美しく寢しも何うで其の儘納る問題ならねば目下盛んに**小さい聲**で三ツ巴入り亂れて**悶着**して居ると聞く處に依ると正直正銘の奥さんは子供を伴れた方でれ里は陸軍少將某名は即ち**濱子**と云ひ**女子大學の卒業生**とあるので池田君の方にも多少僻みもあらうが、濱子さんが**少々頭**が**高**いので池田君「アー**釣合**はぬは**不緣の基**」アーアと彼の溜息なるものを連發して嫌になつてる處へ**旭龍女史**が**同情**に及んだ結果濱子さんを態の善い口實の下に親元へ預け込んで旭龍女史と手に手を取つて波瀾以來の消息は前記の通りなるが夫れとは知らう筈なき濱子さん可愛の亭主は首尾よく奉職したとの事を聞いたので分れて暮すに忍びず遙に思ひ立つて來城したのなりとぞ斯うなつて見ると折角の同情も過ぎては猶ほ及ばざるが如き**一人の女房**御愁傷さまとも申し上げかねた次第なりけり

●**岩本辯士の惡戲** 豫て十時過ぎ迄起床せぬ新町遊廓事務所近藤某は寒氣凛烈なる昨十日午前七時過ぎ起床要件の爲め京城樓迄行き十時頃歸宅せしに留守中に何者か忍入りし形跡あるより驚き盗棒の忍入りしにはあらずやと夫婦連れ狼狽して品物の紛失の有無を調しに何一點も紛失し居らぬより不思議に思ひ居る内机の上に片紙に留守中に忍び入りたる客人は誰ぞと問は兎ー大丈夫と認めあるより素用ある近藤君の事とて彼の花柳界の花役者たる岩本辯護士が廓歸り立寄りし事を覺り安堵したりとは滑稽なり

●**行先々で窃盗** 福井縣坂井郡三國町字櫻谷二十八番地當時住所不定丹後宗次（三〇）は本年九月中京城西小門通り酒井活版所文撰工從事中同業者久保興吉所有の博多帶外一點を窃取し入質したると發覺し受質して返還謝罪事濟みとなりしが十月中本町三丁目文林堂店員に雇れ中店員山田鏡次郎所有の銀側懷中時計一個外一點を窃取し前伺斷八月中旬永樂町二丁目仁川活版出張所に忍入り小田末吉所有の金五圓を窃取する等其他數ヶ所に忍入り金品を窃取したる事警務總監部小野刑事に探知され檢事局に送られしが昨十日京城區裁判所に於て懲役二ケ月に

●**無錢飲み宇三郎** 九日午後五時頃仁川京町二丁目料理店崎代簑吉方へ一人の車夫らしき男が入來りて酒を飲み同九時頃迄飲續け居りしが勘定一圓九十錢の請求を爲せしに一錢の持合せもなく却て亂暴を仕兼まじきに訴へ出べたるより取調べたるに此の者は佐加縣生れにて先頃來宮町竹園館前の人車停留場の挽子なりしも酒癖の惡き男とて解雇され今は一定の住所もなき野口宇三郎（三三）と判明し本署へ引致取調



寒い職業（料理屋の門の客待）

●**浮氣の虫封じ** 岡山縣人當時京城蓬萊町三丁目中野たち（二三）が浮氣の爲め惡心を起し窃盗罪を犯し西部署に檢擧せられし事は十一月二十五日の紙上に猛烈なる浮氣女と題し既報の如くなるが該事件は京城區裁判所に於て審理中の處昨十日懲役三ヶ月に處さる

●**古材木に放火** 九日午後七時二十分頃總督府醫院構内發電所北側古材木の堆積せる上へチゲに藁を掩ひて放火したるものありしが折柄逸早くも職工某が發見し揉消したるより大事に到らざりし右に付き其筋に於て犯人

●**仁川雜事** ▲仁川花町二丁目饂飩屋相川彌七方賣子大分縣中津町生岡本一夫（二四）は一昨日午後三時頃饂飩を賣りに出掛けたる儘行方不明となりし旨屆出▲九日午後四時頃仁川府内面外洞四統九戸朴聖吉方溫突の煙筒より發火し一戸燒失し倘附近へ延燒せんとする處を人々駈集りて消止

●**五圓要る人は** 一昨九日の夜三十前後の男待合春日に遊びし人四圓八十錢の支拂に五圓紙幣にて支拂たるに後にて五圓紙幣二枚重なり居り…に付待合春日迄申込れたしと

●**敷島便り** 一昨日敷島別嬪の檢梅は總數四十八人の内局部洗滌が五人で其他は無事一寸粹機へ尚同夜の遊客は二十六人にて百二十五圓の散財高



去る六日桃山より新町に引越したる日曜樓の娼妓を披露せんに月曜土曜日曜巴水春海朝霧淸州の七名にて日曜が…れ職なるが六日の檢黴より大急ぎ入院仕候▲土曜は菊代と改名容貌は同樓第一にて仲々の凄腕を有し入八は撤だと申し居候▲巴水春海は二枚にて三味も達者で何迄上手との事に候入院中の日曜丼に巴水は去る辯護士より若遊三仕込の手踊りを習び復習を樂しみ居候▲猶は同樓にては七日の夜各樓主を案内して披露會を開き申候處京城樓の酒見井門支店の山路事務所の近藤の三名は歌ヶ藝とに娼妓に惚れられ酒見には巴水近藤には菊代山路に淸州何れも一度なりと思ひ居り候人間には何處かに取り所のあるものにて候▲洞月樓の文之助は愛見の事を思ひ出し去る法律屋に情を明したるに同情は得たが是れも片戀ならんと落嘆致し居候▲皆春樓の吾妻は此の頃理想の好きさんを見付けし摸樣に候▲大桝屋の小蝶は戰闘力を失ひ衛戍病院に後送せられ▲井門支店の絹枝は坊主が好きとの事なるが結局三面氏の御厄介ならんと存じ居候▲玉家の米駒のミルクホール一件は發表せぬ樣三面子に運動方去る友人の娼妓に依頼致し居候（すゞめ）▲翠平に候（三面子）

●**永久的大賣出し** 這回仁川港仲町二丁目小谷嘉吉商店雑品部より斯業界に於ける革命的？を標榜のもとに大發賣しつゝある足袋類は正紺地及び細もれかの晒地とも最上等品のチールの裏附にて深く且つ暖く然かも値直は十文に付金廿錢として鮮備…津々…浦々…到る處の果迄も各文を通じ十足以上の注文に對しては代金引替小包便費用

●**觀世流素謡例會** 午後五時より京城婦人會々場にて番組は和布刈（大槻氏、ツレ花田氏、阪井氏）八島（大田氏、ツレ井上氏野々村氏）巻絹（福垣氏、ツレ男陶山氏）玉葛（大田氏）船辨慶（原島夫人、義經杉山氏、和泉氏）尚番外として自然居士（安住氏、菱谷氏、ワキツレ三好氏）祝言なり

●同上龍山講義所（井出商會跡）にては山口照平師の傳道説教あり參聽隨意

●メソジスト教會（旭町二丁目）午前九時より日曜學校聖書研究あり今十時より木原牧師の禮拜説教「新約の安息日」午後七時舊田嘉伊藏氏の傳道説教

日曜集會（十一日）

●**和歌の家の增築落成** 龍山民役所前和歌の家にては兼て增築中の所此程工事落成せしを以て忘年新年會等多人數の集會にも應ずる設備完成せしを以て時に多人數の宴會は破格の勉強する由

●**理想的模範牛乳** 前の韓國畜產株式會社長獸醫肥塚正太氏は今回南大門外蓬萊町に搾乳所を新設し氏が理想とせる模範牛乳を搾取し廣く衛生家の需用に應ずと云ふ

●…の總ての自店の負擔とし茲鮮滿均一の大賣出しを實行すと云へり兎に角顧客の側にとりては一大至便なる事と云ふべし委しきは本日の廣告欄にあり

謹告

小生儀今般家事の都合に依り**退社歸國**仕候に就ては多年厚誼を賜はりし辱知諸君に對し拜趨御暇乞ひ仕るべく筈に候へども何分至急を要し其の儀に及兼ね候間**乍略儀紙上を以て**御託旁々**御告別**申上候
敬具
十二月　柳江　**森隆孝**

▲平民文庫▼

▲京城府廳の看板は甚だ拙筆也内部の整理は此樣な拙では有るまいが然し名は體を爲す早く能筆に書き替へて貰ひ度い朝鮮人でさへ笑つて居るよ（フン飯生）▲朝鮮人だから笑うんですよ（小僧）▲若草町和田病院は人氣が宜しいですが車夫待合が無いので此頃の寒さ外で二三時間も待つて居てはたまつたものでない院長さんあなた一寸三十分間程でも外に立つてご覽ん記者さんどうか待合を拵へる樣に……（定車夫）▲れ察ししします然し記者が……（小僧）▲電話帳はいろは分けと職業別であるマー一つ一二三と番號順にも別けて頂くと便利だ（電話加入者）▲母國の道路は左へ左へ通れで朝鮮は右へ右へである早く改正

▲愛井の藤さんは如何です先日倶樂魔會の時は人目も有るに乳繰り合ひ人目を盗んでれ樂み今に一騒動になりますよ（〇〇）▲仁川花町に居た山川武利君の居所御存知の方は本庫まで御通知下さい（仁閑生）▲寺町に住んで居た韓政さんは何處に移りましたあの妓オットあの風呂敷包を捨てゝ小包に取替ては可愛想ですよ何とかしてやり給へさなくば素破抜くよ（注告生）▲仁川〇〇所の菊地と云ふ人は長官や請負人と結托して色々惡事をやつて居るのは事實ですあれで十字架さか耶蘇信者とかハイ恐入り升ね（僞善生）▲仁川竹園館に三越出張所が出來て大販賣と聞き買物に行つたが品物の少ないのにはビックリシャックリ（實見生）

▲仲居の立ち座り襖障子の明け閉て……は小笠原流でなくてもチヨツコン氣を附けて欲しいわ（一客）▲ホコリ沈めに瀧に水を撒くのは氣がきいてれるが斯な寒さでは水が凍ぞすると滑べる倒れて怪我をする者は多いよしで貰ひましようかね（罹災生）▲仁川新町湯屋近所の頭に因ある商賣の妻君よ近頭ある可

…して貰ひ度い（觀光團マゴツキ）▲新町第一樓支店の鄕路と云ふ女郎は中々親切だそうですがほんとうでしようか（遊び度い生）▲料理界の元老井門本店は改築後室内の設備より器物萬端はと申す日野暮江戸ッ兒の板場さんが意氣な甘しれ江戸流の料理京城シンガー中の小胥無御座オヤ亦主人は上藝者を抱入で今東京にア、是れもチヨツトだが

今日の運勢

十二月十一日舊十一月九日八白先勝庚戌開△一白負の日 偽衛生 留意し諸事控へ目の事中裁 整理訴訟改革遂行吉△二黒 不和反目の恐れあり交際取引上縺れ易し婚談締約新事共同團結に忌む△三碧 万事人のため已れの損害を蒙る日なり旅行計畫設計談話効無し△四緑 新事婚誠貸借金談徒勞に歸せんとす農林業に吉△五黄 新事見合せの事保證受印遺失職務曠廢若くは過誤を戒しむ△六白 賓買取引貸借進んで利わり他は控へ目の事不動産の事に大に忌む△七赤 訂約懇談熟議共同組合婚談に吉酒色の害を戒しむ△八白 新事見合せの事保證受印裏書禁止の事盗難遺失防ぐべし△九紫 子孫使用人の事に煩累を招がん旅行見合せたるべし他は進んで利有り
十二月十二日舊十一月十日七赤友引辛亥閉△一白 婚談金融の業務旅行轉移子孫の事を執り行ひ雇入れ吉他は手控への事△二黒 人より惑亂され易き日なり近親親族の事に煩累あり△三碧 貸借取引賣買見込違ひ多し建築農林業

